

吉田 悦子  
知的基盤総合センター・特任研究員

【研究】

1. 研究論文

- 1) グラフィカル・ユーザインターフェイスの法的保護-Look and Feel についての一考察, DNP 文化振興財団学術研究助成紀要, Vol. 3, pp.110 - 117 (2020).
- 2) A Study on Inventorship in Japan and its Application to AI-related Inventions, Osaka University Law Review, No.68, pp.71-82 (2021).

2. 書籍 (共著)

- 1) 同志社大学知的財産法研究会編『知的財産法挑戦 II』(弘文堂, 2020), 意匠法の美感概念の解釈再考, 154-172 頁.
- 2) Japanese Design Law and Practice, edited by Christoph Rademacher, Tsukasa Aso (Kluwer Law International, 2020), Chap. 5 Requirements for Design Protection, pp. 69-92.
- 3) 図録 知的財産法 (弘文堂, 2021), 前田健、金子敏哉、青木大也編, 84-91 頁(23 医薬品・バイオ, 24 ソフトウェア).

3. 学会・研究会報告(全てオンライン)

- 1) 医看工芸連携による共創コミュニケーションと知的財産マインドの醸成, 第8回看護理工学会学術集会(招待), 2020年10月25日
- 2) デジタルトランスフォーメーションと知的財産保護: 発明者概念, 中曽根平和研究所, 「デジタル技術と経済・金融」2020年第5回研究会, 2020年10月26日
- 3) DX and AI related inventions: Focus on Inventorship, France-Japan Sakura Project Online Conference, 2020年11月5日
- 4) グラフィカルユーザインタフェースの法的保護について—Look and Feel についての一考察, 2020年度DNP文化振興財団学術研究助成成果報告会, 2020年11月28日
- 5) AI 関連発明の発明者認定についての一考察, IPrism研究会, 2021年3月24日
- 6) 高度情報化社会の発明者の認定と発明の開示についての一考察, 同志社大学知的財産法研究会, 2021年3月27日

4. 共同研究

- 1) 中曽根平和研究所研究委員として「デジタル技術と経済・金融」研究会に参加した。
- 2) 学振・二国間交流事業(代表)の一環として、フランス・トゥルーズ第1大学との共同研究を行った。(MEAE-MERSI)(SAKURAプログラム)

- 3) 工業所有権協力センター (IPCC) 大学高専知財活動助成「医看工芸連携における共創型知的財産マインド養成プログラムの開発-J-PlatPat とミエルカノートの活用」(代表)の一環として、京都市立芸術大学, 大分大学, 大分県立芸術短期大学, 京都大学との共同研究を行った。

#### 【教育】

- 1) 関西大学政策創造学部「導入ゼミ(社会科学入門)」春学期2単位, 学部1年, 全15回
- 2) 関西大学政策創造学部「専門導入ゼミ」春学期2単位, 学部2年, 全15回
- 3) 京都市立芸術大学・芸術学部「クリエイターのための知的財産入門」冬学期2単位, 学部1-4年, 全15回
- 4) 大阪商業大学「知的財産制度」冬学期2単位, 学部3-4年, 全15回
- 5) 大阪大学・京都市立芸術大学共催「医看工芸ものづくりワークショップ」院生, 夏季全5回

#### 【管理運営】以下の委員会に所属して管理運営に関わった。

- 1) 研究企画委員会：知的基盤総合センター主催セミナー等の企画運営を行った。
- 2) 学術協定締結の調整を行った。
- 3) 広報委員会：知財基盤総合センターHP・各種パンフ改訂など, 知的基盤総合センターの活動を紹介し, 学内外への情報発信を行った。
- 4) 大阪大学会館委員会：知的基盤総合センター所蔵の書籍管理業務, 教育研究基盤整備及び大学会館の使用実績の管理業務などを行った。
- 5) 財務委員会：部局概算要求資料等作成
- 6) 評価委員会：部局評価資料作成

#### 【社会貢献】

- 1) AIPPI 課題検討委員 (特許)
- 2) 近畿経済産業局・IPrism 共催「イノベーションとデザイン実践連続講座」講師

以上